

質問

最近では、地域の文化活動や地域で開催される現代アートのイベントに観光客が多く訪れ、交流人口の増大を促し、

文化振興と観光について



田中 立一
議 員

質問

3月14日には北陸新幹線開通を控え、任期も後半を迎え

政策企画推進基盤の整備・充実にについて、合併10年を迎える任期後半へ向けての市長の考えを伺う。



伊藤 文博
議 員

ようとしている中、政策企画推進基盤整備・充実に関する市長の考えを伺う。

地方都市の改革は、市長の強いリーダーシップが必要であると考えます。自分の10年間をどう評価し、任期のこりの2年間に向かわれる覚悟か。また、職員からのボトムアップも重要な要素であり、市長が職員をどう活かすかが重要であり、日常的な業務上のやり取りのなかで、職員からの日常的提案を引き出す努力をしているか。

文化は経済にも大きな波及効果をもたらしている。北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道の開業も見据えた、文化振興と観光による街づくりについて、市の考えを伺う。市内のジオサイト、ヒスイ、奴奈川姫、縄文文化等の地域資源を生かす、現代アートを結びつけた芸術祭の開催はどうか。また、史跡・文化財を活用した「まちあるき観光」の現在の取組状況についてはどうか。

市長答弁

合併後の10年間で旧市町の均衡と一体化を図るとともに、市民の安全安心のために、耐震改修など公共施設の改修事業を多く手がけてきた。今後は、合併後10年を総括し、最重要課題である交流人口拡大や人口減少対策を重点に、より一層厳しくなる財政状況を踏まえ、これまでの取り組みの検証と事業再編、さらには職員の意識改革に努め、30年先も持続可能なまちづくりを進めていく。

質問

JRの試算によると北陸新

北陸新幹線とえちごトキめき鉄道の開業について

市長答弁
芸術祭については、ジオパークに関連した芸術祭等のイベントを検討していく。史跡・文化財の活用については、相馬御風宅を「まち歩き」の拠点とする活用計画を検討している。

職員を活かす取り組みとして

では、日ごろから職員との対話に努め、事業推進に当たり十分な意見交換を行うなど、市長に対して職員が話がいやすい雰囲気づくりに努めており、職員の能力を職務に発揮できるように育成を念頭においた指導を行っている。

幹線東京—金沢全体で1日2万3千人利用の見込みと発表されたが、市ではどう捉えているか。また、現在の広域観光連携の取組状況はどうか。並行在来線開業時のイベントの取組についてはどうか。

市長答弁

2万3千人という数字については、大きな魅力と捉えており、ジオパークを核とした広域観光を推進する中で、糸魚川駅へできるだけ多くの利用客を取り込めるよう努めていく。主な広域連携として、



《その他質問項目》

○農業政策と半農半X(エックス)について

北アルプス日本海広域観光連携会議、北陸新幹線停車駅都市観光推進会議などがあり、それぞれ、広域の魅力を生かした誘客活動を進めている。並行在来線開業時のイベントについては、開業日と翌日の2日間、市内においては能生・糸魚川・青海の3駅を中心に、つながりのある開業イベントを実施していく。